

令和7年3月31日

久留米市議会議長 様

久留米市城南町15番地3

会 派 名 公明党議員団

代表者名 塚本 弘道

政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 事業の完了年月日 令和7年3月31日（令和6年度分）

2 事業実績の概要

- ・国内行政視察

1/30～31 東京都狛江市、埼玉県川越市

- ・広報費

市政報告印刷代

- ・事務費

タブレット端末通信費用、備品購入費、消耗品費、振込手数料

視 察 報 告 書

令和 7 年 2 月 3 日

会派名 公明党議員団
代表者 塚本 弘道 様

会 派 名 公明党議員団
報 告 者 山下 尚

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	令和 7 年 1 月 3 0 日（木）
視 察 地	東京都狛江市
参加議員名	田中功一、塚本弘道、山下 尚 田中貴子、生野 薫、坂田光弘
視察項目	地域課題解決型子ども議会の概要、課題、今後の取組について
視察の目的	地域課題解決型子ども議会について、調査するため。
当該視察地を選定した理由	平成 2 0 年代から子どもの意見表明の場として、議会体験をスタート。以降、長年にわたり子ども議会の取組が続けている。
説 明 者	子ども家庭部 子ども若者政策課企画制作係 ニシムラ係長。エンドウ主事
説明内容	地域課題解決型子ども議会 ・これまでの取組 ・狛江市総合的な主権者教育の策定 ・子ども向けワークショップと子ども議会の一体的な実施
主な質問・応答	・子どもの募集の方法は？ 開始当初は、学校からの推薦。小学 5・6 年生。18 名。 令和 3 年以降は一般公募。小学 5・6 年生・中学 1・2 年生の計 12 名。 ・開始当初から変わったところは？ 以前の子ども議会事業は 1 日限り開催で、質問も参加する子ども自身の問題をそのまま行政にぶつけ、見解を尋ねるだけにとどまり、単なる議会体験になっていた。 そんな中、令和 3 年 10 月に第 2 期「狛江市総合的な主権

	者教育計画」が策定され、主権者教育については、単に選挙や政治について学ぶことではなく、「社会的な意思決定を学ぶことと幅広く捉え、考える力や判断する力を醸成することにつなげること」と定義している。 そこで、子ども議会を、地域課題の解決に向けた子ども達からの行政への提案の場と位置付け、地域レベルの問題の発見から解決提起を行うワークショップと、議会制度を通じて地域課題の解決を目指す子ども議会を一体的に展開することで、地域課題の発見から解決までの過程を疑似体験できる場とした。
視察の成果と 久留米市へ 期待される効果	子ども議会に、議会がどのようにかかわっているのかを聞いたかったのだが、その過程にはほとんど議会としてはかわりがなく、あくまで行政主導の事業、との事だった。ワークショップの過程で議会として行政とともに取り組むことが出来るともっと良い取り組みになるのではないかと考えた。 ただ、粕江市の子ども議会の取り組みは4カ月をかけて、ワークショップを行いその集大成として、議場での質問があるということで、子どもたちにとっては貴重な経験になると思う。 視察内容とは直接関係はないが、市長・議長がそろって出迎えをしていただき、歓迎のご挨拶をしてくださいました。市長自ら歓迎していただいたのは、初めてのことで、驚くとともに少しでも粕江市のことを知ってもらいたい。との強い思いが伝わってきた視察でした。

視 察 報 告 書

令和 7 年 2 月 3 日

会派名 公明党議員団
代表者 塚本 弘道 様

会 派 名 公明党議員団
報 告 者 坂田 光弘

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	令和 7 年 1 月 3 1 日 (金)
視 察 地	埼玉県川越市 川越市立川越第一中学校
参加議員名	田中功一、塚本弘道、山下 尚 田中貴子、生野 薫、坂田光弘
視察項目	小中学校体育館空調設備等整備について
視察の目的	小中学校の体育館空調整備等整備について調査する
当該視察地を 選定した理由	市内全小中学校体育館に空調設備を導入することになって おり、先進事例として調査することとなった。
説 明 者	建築住宅課長 落合福寿 埼玉県川越市立川越第一中学校 校長 吉田基 埼玉県川越市立川越第一中学校 教頭 原田浩明
説明内容	【調査事項】 小中学校体育館空調設備等整備について (1) 小中学校体育館空調設備等整備の概要について (2) 小中学校体育館空調設備等整備の課題について (3) 小中学校体育館空調設備等整備の今後の取り組み について 建築住宅課長 落合氏より、上記調査事項について説明が ある。 (1) について 児童生徒の体調管理や熱中症対策また災害時の避難所 の環境改善を図るため、市立小中学校全 54 校の体育館に 令和 5 年度から和 7 年度の 3 年で 3 期に分け、空調設備 (以降「エアコン」と呼びます。)と LED 改修等の整備 を行うものとして進めている。

仕様の特徴は、熱源はプロパンガス（一部の学校は都市ガス）としており、自立発電型（停電対応型）の室外機を用いることで、停電時であっても燃料が続く限り、エアコンや一部の照明、非常用コンセントなどの使用ができるようになっている。また、熱源がプロパンガスの学校については、災害時に炊き出しも可能となるように、コンロを設置できるような使用となっている。

財源は「緊急防災減災事業債」を活用している。なお本事業債は、対象工事費の地方債充当率が100%、そのうち70%が交付税として措置される大変有利な地方債であり、活用の期限が令和7年度末までに完了する事業である。

(2) について

整備事業における課題としては、まず、人手不足等に起因する発注事業の不調が挙げられる。近年の猛暑などにより、国内でエアコンの需要が増大しており、特に設備設計事業者の確保・工事の施工事業者の人手不足がある。

本市では特に設計業務の入札不調が顕著であり、数回の不調による再入札を行っている案件があるのも現状である。

また、工事を行う上で、1か月程度体育館内が立入禁止となるため、学校行事との調整も課題の一つとなっている。

(3) について

選定する業者について、県内まで入札参加資格の範囲を広げて発注を行うことで対応している。それでも入札不調となった事業については、継続費で行っている事業の強みを生かし、業務の閑散期を含む契約期間とするなどの工夫を講じている。

資材調達期間の長期化については、通常の空調工事 4 か月程度に対して7か月程度を設けることで対応している。

学校行事との調整については、工事を発注する前に、各学校にアンケートを取り、体育館内が使用できない期間の希望を確認したうえで、その期間を仕様書に載せるなどの対策を講じている。一方、それでも契約後に資材調達の遅れなどが生じ、学校行事の再調整が必要となる場合も生じており、学校との綿密な打ち合わせによる対

	応を心がけている。 本市では、小中学校の体育館空調設備の整備は令和 7 年度末までの完了を見込んでおり、今のところ大きな遅れは生じていない。
主な質問・応答	・プロパンガスのタンクで何日分の電気をまかなえるか 防災の観点から避難所としても利用をしていただけるように設置しているが、プロパンガスタンク 50% 残量がある状態で 3 日間である。なおタンクでのガスの残量が 50% を下回った場合、自動でガス会社へ連絡がいくシステムとなっており、その後ガスが補填されるようになっている。 ・また、ガスタンクの設置の高さは、体育館の床の高さとしている。 ・設置校の順番の決定について ① 避難所として開設される回数が多いところ ② 中学校（広域を意識して） ③ 古い体育館 を意識しながら行っている。 ・防災備蓄品について・放課後の地域使用について・非常用電源の活用について 今後の検討事項である。
視察の成果と 久留米市へ 期待される効果	埼玉県川越市は災害が比較的少ない自治体であるが、防災対策として令和 7 年まで 3 期に分けて推進をしている。本市は水害が多いことはもちろん、地震等を含めた大規模災害を想定した対策が必要。また教育の観点からも対策必須であり、川添市のように、シンプルに設置して活用を考えてもいいのではないかと考えることができた。 ・上記のような必要性は本市でもあり、大変良い調査が行えた。 また、今回の調査の課題としては、水害が少ない自治体であったこと、プロパンガスをエネルギー源として使用しているが費用がどの程度かかるのかなどの検証がわからなかった。